

**KYOTO  
JOURNAL  
OF PHYSICAL  
EDUCATION,  
HEALTH AND  
SPORT  
SCIENCES**

Volume 22/ September 2006

**ORIGINALS**

Yoshiaki TAKEI et al. : The Roche Vault Performed by Elite Gymnasts:  
Deterministic model and Judges' scores  
..... 1

Shinji TSUCHIYA et al. : How does the throw of  
baseball pitchers distribute? ..... 15

**PRACTICALS**

Yoji KATSUHARA et al. : The biomechanical study for  
the effective way of jumping in basketball defense..... 23

Nobuyuki KIDA et al. : Practice research on sports mental training  
focused on coach in field ..... 33

Edited by Kyoto Society of Physical Education,  
Health and Sport Sciences

京都体育学研究  
第二十二卷

平成十八年九月

ISSN 0912-3946

**京都  
体育学  
研究**

**原著**

武井 義明他：一流選手のローチェ演技における  
バイオメカニクスからみた成功要因モデルと  
演技得点の関係について..... 1

土屋 真司他：野球の投手の投球は  
どのような分布になるのか?..... 15

**実践研究**

勝原 洋二他：バスケットボールのディフェンス時における  
有効な跳躍方法に関するバイオメカニクス研究..... 23

来田 宣幸他：現場の指導者が果たす役割に注目した  
スポーツメンタルトレーニングの実践研究..... 33

京都体育学会だより No.29 ..... 49

京都体育学会

第 22 卷  
平成18年 9 月

## 「京都体育学研究」編集・投稿規定

平成14年6月29日一部改正

1. 「京都体育学研究」(英文名 Kyoto Journal of Physical Education, Health and Sport Sciences 以下本誌)は、京都体育学会の機関誌であり年一回以上発行する。
2. 本誌は本学会会員の体育・スポーツに関する論文の発表にあてる。編集委員会が認めた場合には会員以外に寄稿を依頼することもできる。
3. 1編の論文の長さは本誌8ページ以内を原則とする。
4. 原稿は、所定の執筆要項に準拠して作成し、原著、資料などの別を指定して編集委員長あてに提出する。原文のほかにコピー3部提出する。
5. 投稿論文は、学術論文としてふさわしい内容と形式をそなえたものであり、かつ未公開のものでなければならない。
6. 投稿論文は編集委員会が審査し、その掲載の可否を決定する。
7. 原稿の印刷において規程のページ数を超過した場合、あるいは、図版・写真などづくに費用を要するものは、その実費を執筆者の負担とする。
8. 別刷は校正時に希望部数を申し出ること。実費により希望に応じる。
9. 本誌の編集事務についての連絡は、「京都体育学研究」編集委員会あてとする。
10. 編集委員会は理事会において編成する。

## 執筆要項

1. 論文の長さは、文献・図表・abstractを含め8ページ(400字詰原稿用紙で30枚)までとする。但し超過した場合その費用は執筆者負担とする。
2. 本誌論文の原稿執筆にあたっては、下記の事項を厳守されたい。
  - (1) 原稿は、市販の横書原稿用紙(B5判400字詰)に清書し或いはワードプロセッサ(A4判40字×20行、15枚)により作成し提出する。  
原稿は、**1枚目**: 題目・英文標題、**2枚目**: 著者名とそのローマ字名、著者の所属名とその正式英語名及び所在地(英文字)、所属の異なる2人以上の場合著者名の右肩に\*、\*\*、…印を付して、脚注に\*、\*\*、…印ごとに所属名とその正式英語名及び所在地(英文字)、**3枚目**: 英文要約(タイプ用紙ダブルスペース250字以内)、**4枚目**: 和文要約(編集用; 英文要約と同一内容)、**5枚目**以降本文、注記、参考文献、図・表の順に書く。
  - (2) 外国人名・地名等の固有名詞には、原則として原語を用いること。固有名詞以外はなるべく訳語を用い、必要な場合は初出のさいだけ原語を付すること。
  - (3) 数字は算用数字を用いること。
  - (4) 参考文献の引用は「京都体育学研究」執筆要項補足による。(京都体育学研究第7、8巻参照)
  - (5) 注記は、補足的に説明するときのみに用い、本文中のその箇所の右肩上に註1) 註2) のように書き本文の末尾と文献表の間に一括して番号順に記載する。
  - (6) 図・表は1枚の用紙に1つだけ書く。また図と表のそれぞれに一連番号をつけ、図1、表3のようにする。(上記要項補足参照)
  - (7) 図の原稿は半透明のタイプ用紙または淡青色方眼紙に黒インキで明瞭に書くこと。写真は明瞭なものを提出すること。
  - (8) 図や表は本文に比べ大きな紙面を要する。(本誌1ページ大のものは原稿用紙4.5の本文に当たる)から、その割合で本文に換算し全ページ数の中に算入すること。
  - (9) 参考文献の書き方は以下の原則による。  
文献記述の形式は雑誌の場合には、著者名(発表年)、題目、雑誌名、巻号、論文所在頁; 単行本の場合には、著者名(発表年)、書名、版数、発行所、発行地、参考箇所の順とする。また記載は原則としてファースト・オーサーの姓(family name)のABC順とする。なお、上記要項補足参照。
  - (10) 本文が欧文の場合には上記要項に準じ、著者名と所属名は和文でも記入し、和文要約は掲載用となる。

「京都体育学研究」編集委員会 〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

京都大学高等教育研究開発推進センター 小田 伸午 研究室

TEL 075-753-6876 FAX 075-753-6734